

(編入学)

# 平成31年度 入学試験問題

## 小 論 文

( 農学生命科学部 国際園芸農学科 )

### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙2枚と下書き用紙2枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

次の二つの図(ともに「花きの現状について」農林水産省 平成26年4月より)及び文章(日本農業新聞2017年10月17日)を読み、以下の問いに答えよ。

著作権の関係上、省略します。

資料：農林水産省「2000年世界農林業センサス」、「2005年農林業センサス」、「2010年世界農林業センサス」

### 図1 花き販売農家数の推移

著作権の関係上、省略します。

資料：農林水産省「2010年世界農林業センサス」、農林業経営体調査報告書 販売農家のうち、主業農家に関する統計年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)のうち単一経営農家の世帯員数

### 図2 水稲と花きの生産者年代構成の比較

2020年の東京オリンピック・パラリンピックで、メダリストらに贈る「ピクトリーブーケ」を巡り、花き業界が揺れている。大会は国産花きの絶好のPR舞台として期待が高まる中、大会組織委員会で贈答品をブーケ以外にする案が持ち上がったためだ。業界は協議会を設立してブーケの使用を働き掛けるが、最終的に判断が下されるのは開催の1年前ごろとみられる。既に開催期間の夏場に咲く花の試験栽培を進める産地は、不安を募らせている。

花きの生産、流通、小売りなどをつくる日本花き振興協議会は9月下旬に東京都内で会合を開いた。ピクトリーブーケについて検討する「オリンピック用」「パラリンピック用」「会場装飾」の3テーマに分けたプロジェクトチームを編成。五輪に向けたアピール活動や花の活用提案を行うことを決めた。しかし参加者は、険しい表情をのぞかせた。磯村信夫会長は「五輪での花の活用は花き業界全体にとって大きなチャンスになる。ここで踏ん張れなければ次世代を担う花の関係者につながらない」と訴える。

## 問題

1. 花きの生産動向における特徴・傾向について、二つの図から読み取れることを、自身の考えも織り交ぜながら500文字以内で述べよ。

2. 以下の問いにそれぞれ答えよ。

A-1. メダリストらへの贈答品を「ビクトリーブーケ」以外にする案が持ち上がった背景として考えられることを、250文字以内で述べよ。

A-2. その対応策として必要と考えられることを箇条書きで二つ述べよ。

B. また、この案が採択された場合、花きの産地・業界にはどのような影響が及ぶだろうか、自身の考えも織り交ぜながら400文字以内で述べよ。